

南京都病院ニュース

2016 新年号
No.41

National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News



新年を迎えてのご挨拶

院長 宮野前 健

新年明けましておめでとうございます。

昨年は安保法制議論や近隣諸国との関係、さらには欧州地域の移民問題、パリでの無差別テロなど内外で課題や事件が噴出した一年でした。医療と取り巻く環境も少子高齢化を迎え、地域医療ビジョン作成や経済的制約の下に診療報酬改正も控え、今年も気持ちの休まる間がないのではと、新年早々思う次第です。

しかし地域に目を向けると、在宅医療の積極的な取り組みなど医師会を中心に地域住民の目線に立脚した事業の展開や、在宅療養児（者）等への保健・福祉行政の取り組みなど、医療を担う我々にとって確実に方向性が見えて来ています。

当院は昨年4月に正式に臨床研究部を立ち上げ、研究部長として神経内科医の川村先生を招聘しました。全国143の国立病院機構病院と横の連携を密にした臨床研究に積極的に取り組めるようになり、さらに呼吸器内科医2名と小児科医2名を新たに迎えスタッフの充実も進んでいます。今年も当院の機能・専門性を地域に向けて、その成果をいっそう発信して地域医療に貢献して参ります。

昨年度は新たな取り組みとして、障害者総合支援法に基づく「療養介護事業」の裾野を広げ、在宅療養が困難なALSなど医療ニーズが高い神経難病の方達も対象として、当院で安心して療養生活を過ごす事が出来るように体制を整えました。また在宅療養をされている人工呼吸器管理など医療の支えが必要な重症心身障害児（者）の皆さんの日中活動・社会参加の場所として通園事業所「しらうめ」を立ち上げています。

念願だった一般病棟の新築移転から4年が経過しましたが、より皆様に親しみやすい病院・療養環境を目指して、今年も老朽化している外来やリハビリ・検査部門などの新築更新に向けて具体的に動く年になります。

当院は一般総合病院と異なる旧療養所の流れをくむ診療構成であり、専門性の強い、質の高い医療の提供を目指しています。結核治療の基幹施設としての機能を継続し、高齢化が進む中ますます増加が予想される慢性呼吸不全などの呼吸器疾患や認知症・神経難病などの神経系疾患、また不登校など現代社会を反映した様々な課題を抱えた子供達への隣接する城陽支援学校と連携した対応、在宅重症心身障害児者への支援など、地域の要望に応えるため、今年も皆様方と連携・協力関係を深めながら公的病院としての機能を発揮して参ります。

本年もよろしくお願いいたします。

小児科・こころとからだの外来紹介

小児科では2015年9月から新しい専門外来
「こころとからだの外来」
を毎週水曜日と金曜日に開設しています。

明らかな医学的原因がはっきりしない、疲労感、腹痛、頭痛などを“不定愁訴”とよびます。この不定愁訴はこころの不具合をからだの症状として表現していることが多々あります。

子供は成長や発達の速度が速いため、大人より悩みを持ちやすいようです。自分の思いを言葉で表現することは、大人にとっても難しいことですが、子供であればなおさらです。上手く表現できない子ども達は、ストレスを抱えることとなります。その結果、心の辛さが“不定愁訴”として頭痛、下痢、めまいなどの体の症状として出現することとなります。「こころとからだの外来」では、十分な時間を取り、ゆっくりと相談し、子ども達が抱えている問題について御本人・御家族と共に考えていきます。その中で解決策や苦しみを軽減する方法を見つけることが出来ればと考えています。



小児科 医師 木村 祐次郎

日本小児科学会専門医
日本小児心身症学会会員

水曜の午後を担当しております。

身体の疾患では、原因を見つけてその原因を取り除くことを治療と考えます。

しかし、「こころ」がもとになって現れてくる症状は、原因やきっかけをみつけても、取り除くことができないことがほとんどです。

親御さんや学校の先生のように、子供たちに近すぎない「医師」という立場から、こどものこころの成長に力添えできれば、と思います。

もちろん、身体的疾患が疑われる場合には、除外するための検査も行っていきます。

子供たちの笑顔が増えていくように一緒に考えていきましょう。



小児科 医師 吉松 昌司

金曜日午後の担当をさせていただきます吉松です。

昨今は国際化が進み、外国出生の子ども達や御両親、また外国へ赴任する御家族も多いです。

私は、バングラデシュ、フィリピン、カンボジア、ガーナといった、途上国での経験もあります。

海外赴任される御家族に付き添う子ども達や、海外から来られた子ども達の様々な相談に関しても受け付けます。英語での対応も可能です。



外来部門のご紹介

外来部門 看護師長 永井 里香

南京都病院は呼吸器内科医 10 名（呼吸器専門医 9 名）を有する京都府下有数の呼吸器専門病院ですが、一般診療としてそのほかに、神経内科、小児科、呼吸器外科、外科、リハビリテーション科、皮膚科、整形外科、循環器科の診療を行っています。専門診療としては、腫瘍（肺癌が中心）、呼吸不全・睡眠時無呼吸症候群、COPD、慢性咳嗽・喘息、間質性肺炎、アスベスト、禁煙、パーキンソン病、もの忘れ、アレルギー、小児神経発達、肥満、予防接種などの外来を行っています。



9月より呼吸器内科、神経内科、小児科の医師が増員され専門外来が充実しました。小児科では『こころとからだの専門外来』が水曜日と金曜日に増設されました。予約診療ですので、ゆっくりお話を聴くことで児・ご家族との関わりを密に持つことができるようになりました。また、毎週月曜日の禁煙外来では禁煙専門看護師が指導を継続して行き確実な卒煙に繋げています。タバコを止められないという方は一度受診いただければと思います。また、水曜日の腫瘍外来では緩和ケア認定看護師と協力しながら安心して化学療法、緩和療法の治療が受けられる環境を整えています。

外来受診は基本的に予約診療です。時間通りの診療に努めていますが、お待ち頂くこともしばしばで大変申し訳なく思っています。看護師は来院された方々の状況を常に把握し緊急治療に遅れが出ないように心がけています。また、図書コーナーを設置したり、寒い時期にはひざ掛けを準備し、少しでも待ち時間を快適に過ごしていただけるよう努めています。



現在、南京都病院呼吸器科ではCOPDの患者さんに対する治験、神経内科では認知症やパーキンソン病に対する治験等を実施しています。薬として承認を受けるために企業や医師が行う臨床研究のことを治験といいます。治験では、新しく開発された薬や医療機器について、人での有効性や安全性などを確認します。治験は、患者さんにとってより良い治療法を開発していく上で必要不可欠なものといえます。当院では、治験コーディネーター2名が治験を適正かつ円滑に実施できるよう支援しています。治験の詳細については当院のホームページ (<http://mkyoto-hosp.jp/chiken/index.htm>) をご覧いただくか、治験管理室までご連絡ください。

地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

患者さんの健康寿命を延伸するお手伝いをします

田畑医院

内科

院長 田畑 眞佐子 先生



内科一般と糖尿病と高血圧外来を中心に診療しています。患者さんの健康寿命を延伸するお手伝いをし、結果として患者さんが「生きて来て良かった」と思える時を出来るだけ長く過ごして頂ければいいなと願っています。社会情勢が大きく変化し続けています。未曾有の高齢化を迎えている現状で殊に団塊世代及びそれ以上の世代の人々と医師患者関係でスクラムを組んで行けるよう、職員一同、これからも力を合わせます。診療所と病院との連携無くしては地域医療は当然成り立ちません。地域基幹病院の南京都病院の先生及び職員の皆様、これからもよろしくお願致します。

■ 京都府京田辺市新小穴21
■ TEL 0774-65-4728
■ FAX 0774-65-4722

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 5:00~7:00	○	×	○	×	○	×	×

■ 休診日 日・祝、火・木・土の午後
※診察は予約制



地域から信頼され選ばれるステーションを目指して

宇治徳洲会訪問看護ステーション

訪問看護

居宅支援



『宇治徳洲会訪問看護ステーション』は宇治徳洲会病院に併設されたステーションで開設20年目を迎えます。平成27年6月には母体病院と共に宇治市小倉町から槇島町に住所を移し活動を続けています。当ステーションは看護職9人、リハビリスタッフ3人(病院との兼務)事務員1人で構成されており、主に小倉町、槇島町、伊勢田町に訪問しています。病院と併設されているため医療連携がしやすく、また薬剤師・リハビリスタッフ・認定看護師等からの助言が受けられ、学ぶ環境も整っていると感じています。「専門性に優れ、医療依存度の高い方、重症の方、ターミナル期の方にも質の高い看護が提供できるように」とステーション独自の勉強会をはじめ、研修会等にも積極的に参加しています。看護師は経験年数に応じて初心者から熟練までそれぞれのレベルに応じた目標を設定し、到達できるように取り組んでいます。

■ 宇治市槇島町石橋145
■ TEL/FAX 0774-20-3222
■ 営業日・営業時間
月~金 午前8:30~午後5:00
※(祝日・年末年始を除く)
※(24時間緊急対応可能)



私たちは、今まで関わったご利用者・ご家族から数え切れないほど多くの事を学ばせていただきました。その感謝の気持ちを看護でお返しできたらという思いで日々研鑽しています。どんな状態の方でも家で過ごしたいという思いがあればその思いに添えるよう最大限の努力をしていきたいと思ひます。「家に帰ってきてよかったなあ」「家で介護が出来て良かったなあ」と思っただけのよう支援させていただきたいと思ひます。

『健康フェア』を開催しました

11月14日（土）に地域の皆さまに自己の健康に関心を持ち、健康管理に役立てていただくことを目的にアルプラザ城陽店で『健康フェア』を開催しました。

当日は看護、介護、栄養相談などの各種健康相談や血圧、呼吸機能、骨密度、血管年齢、血圧などの測定を行いました。また、キッズコーナーでは白衣姿でポーズをとり、写真をキーホルダーにしてプレゼントしました。あいにくの雨の中、各コーナーで延べ1,300人を超えるご来場をいただきました。



今回はアルプラザ城陽店さんのご厚意で前回よりも広い場所をお借りすることができ、朝10時の開始早々から行列が出来るほど大変盛況でした。当日は病院から30名以上のスタッフが参加しました。検査の内容を理解して

いただくため一生懸命お話をしたり、恥ずかしそうに白衣に袖を通すお子さんと触れ合ったり、日ごろの業務とは全く異なる環境の中、スタッフにとってもきらきらとした笑顔のあふれる1日でした。

次回は来春に開催を計画しております。今後とも、地域に開かれた病院として、地域の皆さまの健康管理に少しでもお役に立てるよう続けていければと考えております。

健康フェアスタッフ一同



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
 - JR学研都市線 京田辺から 徒歩20分
 - JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分
- ＊…各駅より送迎車あり

診療科のご案内		
● 呼吸器科	● 神経内科	● 小児科
● 内科	● 外科	● 消化器科
● 呼吸器外科	● 循環器科	● 整形外科
● 皮膚科	● リハビリテーション科	● 放射線科
● 麻酔科	● 歯科	● 耳鼻いんこう科
(入院患者のみ対象)	(入院患者のみ対象)	(休診中)

独立行政法人国立病院機構

南 京 都 病 院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
 TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
 URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療連携室

ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 231)
 直通FAX 0774-58-0270
 E-mail renkei@mkyoto.hosp.go.jp